

「臨床婦人科産科」 第35巻 総目次

1981年（1号～12号）

数字は通巻頁数，（ ）は号数

〔指 標〕

婦人患者をめぐる倫理的諸問題の
再検討——新しい医療のあり
方をさぐる

品川 信良・藤盛加代子・角田つね
照井 親子・三上あや子…………… 5 (1)

子宮頸部血行動態からみた頸管成

熟のメカニズム……………佐藤 郁夫……………73 (2)

利尿剤と妊娠中毒症——利尿剤は

妊娠中毒症の治療薬として不
適当か……………須藤 寛人… 149 (3)

HCG-Carboxyl-terminal Peptide

抗体の作成とその臨床応用
松浦 脩治・大橋 正伸・東條 伸平… 233 (4)

産婦人科領域の染色体分析の意

義——日常診療においてどの
ような場合に染色体検査を実
施したらよいか……………大浜 紘三… 313 (5)

母体と胎児との共存関係における

胎盤の意義——その起源をた
どって……………中居 光生… 477 (7)

産婦人科と生殖免疫学……………竹内 正七… 549 (8)

新しいエストロゲン四分画迅速微

量定量法とその臨床応用
相良 祐輔・岡谷 裕二・山懸 猛日
武田 佳彦…………… 617 (9)

産婦人科心身症の診断と治療……………岡村 靖… 693(10)

先天異常児出産婦人の次回妊娠管

理——反復異常児出産を防ぐ
ために……………又吉 國雄・相馬 広明… 773(11)

妊卵着床機序に関する研究……………

富永 敏朗・岸本 善文・木下 幹久
加藤 隆郎・村松 弘巳・矢野 樹理
川口 周利…………… 853(12)

〔特集・Modern Therapy〕

リスク症例と手術

リスク症例と手術（総論）

橋本 正淑・工藤 隆一・大野 光春……………15 (1)

高血圧症と手術……………福島 務・幡 進……………18 (1)

糖尿病と手術……………足高 善彦……………23 (1)

呼吸器障害と手術……………高見沢裕吉・久保田浩一……………27 (1)

循環器障害と手術……………関場 香・福井 秀樹……………33 (1)

高齢・肥満と手術

森 一郎・有馬 直見・藤野 敏則
新川 義容……………37 (1)

リスク症例と分娩

リスク症例と分娩 総論……………鈴木 正勝……………81 (2)

呼吸障害と分娩……………桑原 惣隆……………87 (2)

血液疾患と妊娠・分娩……………真木 正博……………91 (2)

糖尿病妊産婦の管理

……………杉山 陽一・小塚 良允……………95 (2)

体質・体型異常と分娩……………福島 穰……………99 (2)

肥満妊婦の管理指針……………浜田 悌二… 105 (2)

高年初産婦と若年妊婦

玉田 太朗・臼井 謙一・谷野 均… 113 (2)

合併症の母体と新生児リスク

合併症の母体と新生児リスク（総

論）……………福田 透… 159 (3)

心疾患の母体と新生児……………松浦 俊平… 165 (3)

血液疾患の母体と新生児——とく

に出血性素因を主症状とする

血液疾患について……………鈴木 重統… 169 (3)

甲状腺異常の母体と新生児……………兼子 和彦… 175 (3)

糖尿病の母体と新生児……………久慈 直志… 181 (3)

母体への薬物療法と新生児への影

響……………山本 皓一… 187 (3)

飲酒・喫煙と新生児リスク……………安部 徹良… 195 (3)

産婦人科と東洋医学（II）

産婦人科領域における東洋医学の

現況と展望……………大内 広子… 325 (5)

東洋医学における疾病の考え方

……………三浦 於菟・中川 良隆… 329 (5)

子宮筋腫の漢方療法

岡田 研吉・林田 和郎・片出 進
林 鴻程・椎名 一雄・平川 舜… 335 (5)

不妊と漢方療法

村田 高明・宇田川康博・林 茂隆

北井 啓勝・倉沢 滋明…………… 343 (5)

更年期障害と漢方療法……………佐藤 芳昭… 351 (5)

妊娠中毒症と漢方療法

山本 浩志・江口 勝人・河野 一郎

関場 香・真鍋 立夫…………… 355 (5)

針治療と針麻酔の産婦人科臨床へ

の応用(その1)……………飛松 源治… 361 (5)

針麻酔と針治療の産婦人科臨床へ

の応用(その2)……………飛松 源治… 437 (6)

産婦人科と Physical Care

妊娠婦体操……………浅野 一雄… 393 (6)

水泳指導

室岡 一・越野 立夫・大塚 茂… 398 (6)

妊娠婦呼吸管理とラマーズ法のあ

り方……………尾島 信夫… 401 (6)

産褥期における乳房マッサージ指

導——桶谷式乳房治療手技を

中心として……………小林美智子… 407 (6)

赤ちゃん体操と Vojta 法……………富 雅男… 413 (6)

産婦人科と温熱療法……………門田 徹… 419 (6)

産婦人科手術と Physical care…杉山 四郎… 423 (6)

ウイルス感染症治療に必要な基礎知識

ウイルス感染症治療の原則……………加地 正郎… 557 (8)

ウイルス感染症の防御機構…森良一・林嘉信… 561 (8)

抗ウイルス剤の現況と将来……………豊島 滋… 567 (8)

インターフェロンによるウイルス

感染症の治療……………鳥羽 和憲… 572 (8)

ヘルペスウイルス症の治療……………川名 尚… 579 (8)

産科におけるダイナミックテスト

産科におけるダイナミックテスト

……………武田 佳彦… 629 (9)

新生児のダイナミックテスト——

中心性チアノーゼの診断的ア

プローチを中心に

……………山崎 武美・松尾 保… 633 (9)

胎盤のダイナミックテスト

矢内原 巧・高水 松夫・石田 珠明

中山 徹也…………… 639 (9)

妊婦の糖・インスリンダイナミッ

クテスト……………浜田 悌二… 645 (9)

妊婦循環系のダイナミックテスト

……………村山啓三郎… 651 (9)

分娩準備状態とダイナミックテス

ト——Oxytocin test の追跡

一條 元彦・植田 充治・新谷 雅史… 657 (9)

婦人科におけるダイナミックテスト

婦人科とダイナミックテスト……………高木 繁夫… 693(10)

視床下部一下垂体—卵巣系のダイ

ナミックテスト

岡村 均・高橋 晃・麻生 武志… 709(10)

副腎・甲状腺のダイナミックテス

ト……………網野 信行・谷沢 修… 714(10)

不妊症とダイナミックテスト……………香山 浩二… 721(10)

手術とダイナミックテスト……………品川 信良… 726(10)

悪性腫瘍の化学療法とダイナミッ

クテスト

西谷 巖・善積 昇・平間 隆之… 731(10)

母 乳

母乳の生物学——免疫学的側面か

ら……………財満 耕二… 785(11)

母乳の生物学——その分泌機序を

さぐる……………水口 弘司… 790(11)

母子相互作用と母乳哺育……………小林 登… 798(11)

母乳中心主義栄養法による新生児

管理……………岡 敏明… 803(11)

未熟児保育と母乳……………山内 逸郎… 809(11)

乳汁分泌促進の実際

青野 敏博・林田美代子・小泉 清

倉智 敬一…………… 815(11)

国際産婦人科連盟による母乳栄養

奨励活動に関する勧告……………天野 完… 822(11)

Modern Therapy の反省

妊娠中毒症における降圧剤・利尿

剤投与の功罪

須川 信・北中 孝司・駒谷美津男

日高 敦夫…………… 861(12)

子宮収縮・抑制剤投与の功罪……………菊池 三郎… 866(12)

ホルモン療法の功罪……………五十嵐正雄… 869(12)

避妊法をめぐる問題点……………広井 正彦… 872(12)

悪性腫瘍における免疫療法の問題

点……………金沢 浩二・竹内 正七… 876(12)

悪性腫瘍における手術療法の限界

と功罪……………関場 香・石井 良夫…	879(12)
悪性腫瘍における化学療法の功罪 ……………寺島 芳輝…	882(12)
新生児におけるアルカリ療法の問題点 ……………松村 忠樹・杉本 健郎…	885(12)
新生児における酸素療法の問題点 ……………金岡 毅…	889(12)
新生児黄疸における光線療法の問題点 大西 鐘壽・伊藤 進・真鍋 正博 犬飼・和久・磯部 健一……………	893(12)

〔特 集〕

新生児異常発見のための臨床検査

新生児診断学を確立したい……………品川 信良…	243 (4)
新生児呼吸窮迫症候群発生予知に 関する羊水検査 平野 秀人・樋口 誠一・真木 正博…	247 (4)
胎児・新生児感染の早期発見—— 特にそのスクリーニングにつ いて 大石 孝・野村 雪光・斎藤 勝…	256 (4)
新生児B群連鎖球菌感染症診断の ための臨床検査 門井 伸暁・斎藤 善雄・渡辺 克 星 敬一・仁志田博司……………	263 (4)
胎児・新生児期の染色体異常の早 期発見……………藤本征一郎…	269 (4)
臍帯血検査による新生児管理およ び予後の改善——特にその採 取・保存の提案と新生児黄疸 に関連して 中村 幸夫・河村 豊・竹内 泉 安斉 栄一・小川 克弘・品川 信良…	279 (4)

卵巣の手術

卵巣の手術……………下村 虎男…	488 (7)
良性卵巣腫瘍の手術——性腺機能 温存のための配慮……………東條 伸平…	491 (7)
卵巣腫瘍中間群の手術……………野田起一郎…	503 (7)
悪性卵巣腫瘍の手術……………寺島 芳輝…	507 (7)
Free Discussion——卵巣腫瘍の手 術の問題点 (司会) 須川 信・蜂屋 祥一……………	513 (7)

特集コメント／安易な付属器摘除
への批判, 残存部から発生す
る悪性腫瘍および中間群など
をめぐって……………須川 信・蜂屋 祥一…

〔講 座〕

Fetal Monitoring 講座—基礎から臨床応用へ

Ⅲ. 心拍数細変動と産科麻酔……………西島 正博…	43 (1)
Ⅳ. 心拍数細変動の臨床……………西島 正博…	119 (2)
Ⅴ. pH monitoring……………貝原 学…	203 (3)
Ⅵ. 心拍数変動と血液生化学……………貝原 学…	285 (4)
Ⅶ. 胎動の評価……………金岡 毅・井槌 邦雄…	371 (5)
Ⅷ. 胎児心拍数 (Physiologic Profiling) ……………金岡 毅・井槌 邦雄…	431 (6)
Ⅸ. 胎児の呼吸様運動 (Fetal breathing movement) 飯塚 理八・諸橋 侃・根本 謙…	521 (7)
X. 胎児脳波 (Fetal Electroence- phalography) 飯塚 理八・諸橋 侃・根本 謙…	587 (8)
XI. 母体情報としての血清酵素—— placental leucine aminopepti- dase (P-LAP) を中心に……………水谷 栄彦…	661 (9)
XII. 母体情報——内分泌 ……………桑原 慶紀・小山 照夫…	739(10)
XIII. 羊水情報……………久永 幸生…	825(11)

〔原 著〕

妊娠中毒症の赤血球抵抗について ……………布施 養慈・白井 達男…	49 (1)
周産期管理における NST および CST の応用について 国松 茂生・正岡 直樹・山口 進久 飯塚 貞男・坂田 寿衛・高木 繁夫…	123 (2)
進行・再発子宮癌に対する SSM (人型結核菌体抽出物質) の 治験成績 佐藤 重美・石上 博・片桐 清一 菊池 正光・永山 正剛……………	131 (2)
rT ₃ から検討した妊娠, 分娩, 産 褥期の婦人並びに胎児の甲状腺 機能……………沢原 光信…	215 (3)
ステロイド避妊薬長期服用者の血 液生化学的所見—その4 血 清脂質について	

……………塚田 一郎・木暮 正彦…	221 (3)
分娩経過(子宮収縮)と母体側	
SaO ₂ , tcPO ₂ の変動	
千村 哲朗・森崎 伸之・高木 潤一…	381 (5)
子宮頸癌の好酸球性間質反応	
井上 武夫・葛谷 和夫・西 日出郎	
千原 勤……………	525 (7)
乳漏症からみた卵巣機能不全の診	
断——下垂体腫瘍例を中心に	
土田 勲・丸山 晋司・内山三枝子	
野口 正・鴨井 久司・渡辺 正雄	
佐藤 宏……………	593 (8)
最近の当科における妊娠中毒症の	
実態調査	
明城 光三・古橋 信晃・佐藤 章	
鈴木 雅洲……………	599 (8)
単一臍動脈の臨床……………木村 好秀…	603 (8)
因子分析による定量的胎盤形態学	
と胎児予後	
荻野 満春・箕浦 茂樹・水野 正彦	
坂元 正一……………	669 (9)
免疫学的立場でとらえた妊娠中毒症	
倉本 雅規・浜崎 洋一・古橋 信晃	
鈴木 雅洲……………	677 (9)
子宮頸癌の組織型と予後——好銀	
細胞癌を中心に	
井上 武夫・葛谷 和夫・西 日出郎	
千原 勤・松山 睦司……………	745(10)
子宮体部に発生した癌肉腫について	
岩浅 義彦・辰村 正人・松井 克明…	751(10)
プロラクチン値の変動と生殖機能	
との相関……………沢原 光信…	901(12)

〔研 究〕

東洋医学にみる婦人科腫瘍の解釈	
……………三浦 於菟……………	53 (1)
卵巣培養によるハムスター卵子減	
数分裂の観察	
鈴木 秋悦・北井 啓勝・大庭三紀子…	377 (5)

〔症 例〕

尖圭コンジロームのBLM軟膏に	
よる治療……………木村 好秀…	297 (4)
前置血管破裂の1例	
中村 幸夫・竹内 泉・白取 秀世…	447 (6)

未分化型 Arrhenoblastoma の1例	
塚崎 克己・野沢 志朗・宇田川康博	
永井莊一郎・太田 博明・栗原 操寿…	450 (6)
臍転移をきたした末期卵巣癌の1例	
西川 義雄・松本 清・佐藤 優	
下里 直行・土田 容子・稲垣 明…	457 (6)
術後組織によって診断された莢膜	
細胞腫の1例	
高橋健太郎・松井 克明・村尾 文規	
松永 功・北尾 学……………	531 (7)
初期腹膜妊娠の1例	
藤谷 繁雄・藤田 博正・川口 勲…	535 (7)
(胸腹結合体)の1例	
小野寺正行・斎藤 晃・佐藤 章	
佐藤 信二・平野 睦男・小篠 隆光…	757(10)
男性化腫瘍 (androblastoma) の	
1例——視床下部一下垂体系	
の内分泌機能を中心として	
藤原 卓夫・柴田 和男・赤堀泰一郎	
片山 和明・森川 肇・東條 伸平	
岡田 聡・稲留 哲也・斎藤 公明…	829(11)
子宮内膜症治療における Danazol	
薬疹とその他の副作用	
加藤 順三・滝田 研司・沖永 莊一	
荒井 清……………	835(11)

〔薬 の 臨 床〕

Lo-Lyndiol 長期服用時の副作用	
とくに血液生化学的所見につ	
いて……………岡村 隆・小林 拓郎…	57 (1)
鎮痛効果と呼吸抑制作用の検討	
—婦人科手術後の buprenor-	
phine 静注投与	
……………西岡 克郎・天羽 敬祐…	683 (9)
腔, 外陰真菌症に対する micon-	
azole 腔坐薬の使用経験につい	
て	
海野 隆彦・中出 潤子・李 東満	
岡本 吉夫・梅咲 直彦・荻田 幸雄	
須川 信……………	761(10)
子宮外妊娠の非観血的保存治療法	
へのアプローチ	
宮崎 幸雄・椎名 美博・一戸喜兵衛…	843(11)
更年期障害および自律神経失調症	
に対する EGYT-341 (tofiso-	

pam)の臨床成績……山田雄飛・馬島季磨…907(12)

古江 尚・田口 鐵男・

共著……………服部 孝雄… 865(12)

〔Breast Feeding Memo〕

乳幼児身体発育と幼児健康度の調

査成績……………澤田 啓司… 666 (9)

離乳開始の時期……………澤田 啓司… 720(10)

アメリカにおける母乳意識の普及

度……………澤田 啓司… 814(11)

母乳の乳質……………澤田 啓司… 888(12)

〔海外から〕

アメリカの分子生物学とオマリ

ー・グループの現況(その1)

——遺伝子移植, ステロイド

レセプター……………田中 芳雄… 208 (3)

アメリカの分子生物学とオマリ

ー・グループの現況(その2)

——mRNA processing, Post-translational processing, Cell

Hybridization ……………田中 芳雄… 291 (4)

〔書評〕

人類遺伝学入門(改訂第2版) …大浦 敏明… 130 (2)

「臨床輸血学」葛西 洋一・他編…佐藤 暢… 301 (4)

「Coagulation Disorders in Obs-

tetrics—Pathobiochemistry,

Pathophysiology Diagnosis,

Treatment」H. Graeff, W.

Kuhn 著……………相馬 広明… 359 (5)

「試験管ビー」飯塚理八・監訳…印牧 義孝… 464 (6)

「PERNKOPF 臨床応用局所解剖図

譜<日本版>」H. Ferner編,

小川鼎三・他訳……………山田 英智… 538 (7)

「Obstetrical Practice」Silvio

Aladjem 著……………蜂屋 祥一… 539 (7)

「機能を中心とした図説組織学

<日本版>」P.R. Wheeler・

他著, 山田英智監訳……………山元 寅男… 592 (8)

「Blasto-Endometrium Relation-

ships—Progress in Repro-

ductive Biology 7」F. Leroy・

他編……………相馬 廣明… 609 (8)

「腹部単純 X 線診断第2版」永井

純・他著……………大澤 忠… 730(10)

「抗癌剤の選び方・使い方」

〔臨床メモ〕

新生児B群レンサ球菌感染症の予

防……………貝原 学…32 (1)

妊娠と無症候性腎感染……………佐藤 直樹…52 (1)

血漿増量剤による妊娠中毒症の治

療……………貝原 学… 173 (3)

卵巣機能とダグラス窩液……………佐藤 直樹… 324 (5)

子宮内感染による前期破水ならび

に早産……………貝原 学… 385 (5)

切迫流産の予後判定と β -Glyco-

protein ……………佐藤 直樹… 462 (6)

妊婦の血中アルファ・フェトプロ

テイン異常高値と種々の胎児

異常……………貝原 学… 524 (7)

月経前緊張症と VP₆ 療法……………佐藤 直樹… 638 (9)

授乳婦人の栄養摂取量と血中プロ

ラクチン量……………貝原 学… 782(11)

妊娠糖尿病と Hemoglobin A_{1c}……………佐藤 直樹… 878(12)

〔トピックス〕

妊卵の行方——着床後消失のデー

ターから……………広井 正彦…22 (1)

モルヒネの硬膜外注入法……………田部井 徹… 111 (2)

estrogen 使用者では子宮内膜癌患

者の生存率を高める……………広井 正彦… 117 (2)

妊娠初期の胎児の大きさの男女差

……………広井 正彦… 164 (3)

視床下部性 gonadotropin 放出ホ

ルモン (Gn-RH) 持続波状投

与による不妊症の治療……………広井 正彦… 242 (4)

FSH 分泌抑制因子 “Inhibin” の

意義……………田部井 徹… 302 (4)

覚醒時間による基礎体温の調整……………広井 正彦… 333 (5)

喫煙は精子の形態異常を誘発する

……………広井 正彦… 446 (6)

羊水中に存在する Catecholamines

……………田部井 徹… 463 (6)

妊娠初期の合成 Gestagen 投与は

児の行動を攻撃的にする……………広井 正彦… 487 (7)

プロラクチン分泌性下垂体小腺腫

の長期観察による評価……………広井 正彦… 555 (8)

妊婦の飲酒と胎児性アルコール症

候群……………田部井 徹… 585 (8)
 早産未熟児の頭部超音波所見と児
 の予後……………広井 正彦… 632 (9)
 IUD からの抗フィブリン溶解物
 質の放出による月経出血量の
 減少……………広井 正彦… 756(10)
 妊娠中の連鎖球菌 (streptococcus)

による感染症……………田部井 徹… 764(10)
 子宮摘出後にみる不定愁訴は手術
 前の精神症状の反映……………広井 正彦… 842(11)
 月経周期にみる人格と学業成績…広井 正彦… 913(12)
 胎児性ワルファリン症候群 (fetal
 warfarin syndrome)
 ………………田部井 徹… 914(12)

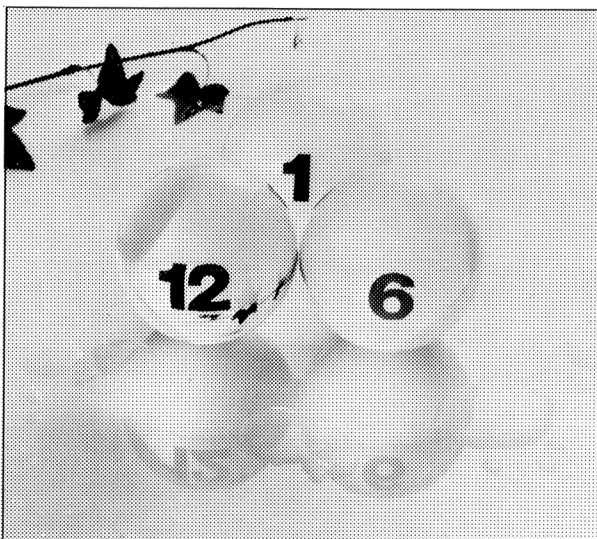
水溶液で安定。／V・B₁, B₆, B₁₂

健保適用

神経・筋機能賦活剤

ネオラミン[®]・スリービー液

静注用



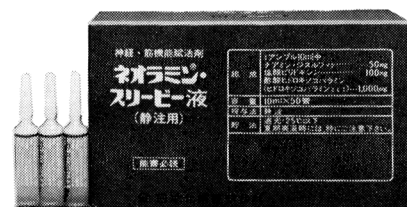
〔適応症〕

下記疾患のうちビタミンB₁・B₆・B₁₂の代謝障害が関与すると推定される場合

■神経痛 ■筋肉痛、関節痛 ■末梢神経炎、末梢神経麻痺 ■糖尿病時の末梢神経症状の改善、アルコール中毒性神経炎 ■ウェルニッケ脳炎 ■脚気 衝心 ■悪性貧血、栄養性貧血、寄生虫性貧血 ■栄養不全

なお、効果がないのに月余にわたって漫然と投与すべきではありません。

〔包装〕 10ml:5管、10管、50管



*用法・用量・使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

日本化薬株式会社

医薬事業部 東京都千代田区一番町15-5
 TEL 03(264)1251